



舟渡小だより

令和7年10月31日

令和7年度

11月号

志村五中・舟渡小 響き合う学びのエリア

板橋区立舟渡小学校

校長 相澤 紀夫

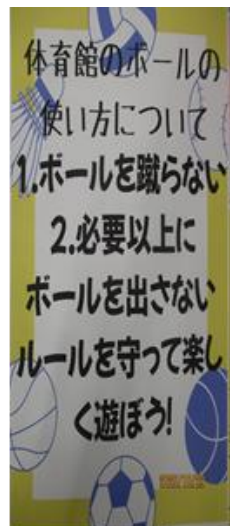
自ら学び進める

校長 相澤 紀夫

朝夕が寒さを増し、秋の気配というか冬の訪れを予感させるような気候となりました。今年も秋は短そうです。さて、学校は今学習発表会の準備真っ最中です。今回からこれまでの「学会会」としての演劇発表ではなく、ふだんの学びの成果を発表する場として、学習発表会としてリニューアルしました。子どもたちの発想やアイディアを生かし、タブレットやスクリーンを活用しながら、劇でのパフォーマンスも取り入れるなど各学年がそれぞれ工夫を凝らして練習中です。

＜計画委員会＞

本校では今年度から、「計画委員会」という委員会を新たに設置しました。メンバーは児童会から委員長、副委員長、書記が参加、その他各委員会から委員長、副委員長が参加します。この委員会が発足された経緯は、学校生活での課題や「もっとこうなるといいな」という目標を教員や高学年児童が共有し、そのための解決策をすべての委員会で検討することでよりよいアイディアを出し合い、達成感や連帯感を高めるためです。例えば「外遊びのボールがちらかっている」という問題に対し、子どもたち自身で解決法を出し合い、○運動委員会ではボールの点検、○放送委員会では放送で全校児童に呼びかける、○広報委員会ではポスターを作って掲示する、などです。それぞれの役割の中で、協同して事に当たり、自分たちの生活をよりよいものにしていきたいという子どもたちの願いから誕生しました。絶賛活動中です。



＜教育委員会訪問＞

27日月曜日、教育委員会による学校訪問が行われました。4、5校時の授業を参観し、子どもたちの学ぶ姿をもとに、教員の指導について後の協議会で指導助言をいただきました。教育委員会から率直な感想や良かった点、また課題について具体的な助言を受けたことで、先生方にとって自己の課題を整理し、今後の授業改善を図る良い機会となりました。板橋区がめざす「子どもたちが学びを自己調整し、主体的に学ぶ新しい学習スタイル」の充実に向けて先生方も自らの学びを自己調整し、これからも力量を高め、よい授業を展開してくれるでしょう。

